

道徳の授業(コロナに関する)

①感染症という病気そのもの

②不安・心配

③偏見・嫌悪・差別

感染症には3つの顔があり、それらがつながりあって負のスパイラルが起こります…。



コロナ扱いされるのはとても怖いなと思った。クラスでもそういう悲しいことがないようにしたい。ウイルスのはよくない。みんな不安だから、笑顔を生み出したい。ウイルスと戦えるように、みんなを付けていきたい。  
(五年女子の感想)

校長室  
だより

校訓 よく見る よく考える 助けあう  
伸びるのだ 励むのだ



R2. 8. 3 (月)  
NO. 14

カワニナとり



6月上旬



8月上旬

学校田は、青々とした稲が実っています。八月末には稲刈りができそうです。ネットも張られ、鳥対策もばっちり。小久井農場さんのおかげです。感謝いたします。

7.31 先生たちでカワニナとりに行きました！カワニナ池にも入れ、集めたメロンの皮がカワニナに役立ちます。

「コロナには3つの感染症があります。一つ目は、感染症という病気そのものです。二つ目は、不安や心配です。三つ目は、差別・偏見・嫌悪です。この三つは、病気から不安になり、不安が差別を呼び起こし、差別が結果として病気の拡散を招く」という負のスパイラルでつながっています。」  
このように始まる動画等を見ながら、どのクラスでも道徳の授業を行いました。今の岡崎市の感染状況は、いつどこで学校閉鎖が起きてもおかしくないなと思っています。何とか終業式を無事に迎えない、後五日、頑張りましょう！

今週の俳句 梅雨明け。蝉も大合唱開始  
引っぱれる 糸まつすぐや かぶと虫  
高野 素十